

和田堀公園・善福寺川緑地の 防災上の取り組み

災害時や緊急時に備え、防災対応力の強化と普及啓発に取り組み、安全・安心な公園づくりを進めています。

大規模救出・救助活動拠点の確保

和田堀公園には、自衛隊などのヘリコプターの離発着場所やベースキャンプとなる大規模救出・救助活動の拠点の確保という大きな役割が有ります。

大規模救出・救助活動拠点には、第一競技場が指定されているほか、第二競技場（済美山運動場）も緊急ヘリポートとしての利用が想定されており、関係機関と連携を進めるとともに訓練を行っています。



ヘリコプター離発着の様子
(水元公園での訓練写真)



平成 24 年度に実施された杉並区総合震災訓練の様子
(和田堀公園)

避難場所としての取り組み・地域との連携関係の構築

発災時の延焼火災などから身を守る避難場所としての機能を発揮するため、公園近隣の住民の皆さまや地元消防署等との訓練を実施し地域との連携強化を図っています。



近隣福祉施設との合同避難訓練（和田堀公園）



近隣町会との防災訓練（善福寺川緑地）



トピックス

親子で体験！「防災体験会」を開催

和田堀公園では、親子で参加できる「防災体験会」を実施。かまどベンチを使った火起こしや、災害用トイレなどの防災施設をスタンプラリーをしながら楽しく学び、体験していただきました。



防災意識の普及

イベントや防災訓練において、防災関連プログラムを実施し、来園者の方の防災意識の普及啓発を図っています。楽しみながら、防災を学んでいただけるよう、様々な工夫をしています。



アルミホイルやティッシュペーパーなど、身近な材料で作る防災ランプ作りのワークショップ（和田堀公園）



子どもたちにもAEDを体験してもらいました（和田堀公園）

防災イベントで「かまどベンチ」を説明（善福寺川緑地）



震災に備えた職員の対応力向上の取り組み

発災に備え、防災無線使用訓練や AED 訓練のほか、様々な時間帯（早朝、日中、夜間）を想定した職員の震災対応訓練を実施しています。



職員対象のAED訓練



日没後の防災
トイレ組立訓練



(完成)



災害対策備品

防災保管庫にとりまとめサービスセンターに備え付けています。

防災士などの有資格者の配置

災害時の安全確保に向けて、防災士の計画的な配置をはじめとして、職員の救命救急講習やAED取扱い講習の推進を図っています。



職員による防災公園についての説明
防災士のほか、応急手当普及員、上級救急救命技能認定者も在籍しています。



知っていますか？ 「自助」「共助」「公助」

「自助」：災害時、自分自身や家族の身を守ること
「共助」：地域の人々など、人と人が共に助け合い、救護活動等を行うこと

「公助」：自治体や、警察・消防・自衛隊などの公的機関が災害支援活動を行うこと

ぼく、ともすけ。
ぼくの名前は、
共助からきているんだよ



防災施設の定期点検

いざという時に、公園にある様々な防災施設（設備）の機能を十分に発揮できるよう、定期的な園内の防災施設（設備）点検を実施しています。



かまどベンチの点検
(善福寺川緑地)



防災井戸ポンプの点検
(和田堀公園)

防災関連パンフレットの配布

園内の防災関連施設の紹介や情報発信を目的として、公園ごとの「わたしたちの防災力」を配布しています。また、防災意識啓発の一環として、「防災公園総合ハンドブック」を作成しています。

